

## 藤樹人間学塾： 藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に藤樹思想を学ぶとともに、今日的意義を自分の頭で考え、仲間と議論しながら考えを深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月第一土曜日の午後、開催しています。本会報ではその模様をお伝えいたします。

九月三日（土）午後、第61回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

はじめに「実践人の家」を創設された哲学者で教育者の森信三先生が「私の好きな三人の日本人」という題の講演の中で、最初に中江藤樹を取り上げられていた話をしました。

『孝経』を素読した後、「卿大夫の章」を学びました。卿大夫とは、現代でいえば副知事のような立場です。この章の概意は、正式の衣服でなければ着ない。礼法にかなった言葉でなければ使わない。そうすると、言うこと為すことすべてが規範にかなっており、舌禍事件はなく、何を行おうと人から怨み憎まれることはない。

フリートリーキングでは、中庸の話法とは何か。心の中庸とは何か、等について議論しました。

塾の後は、場所を替えて懇親会を楽しみました。

十月一日（土）午後、第62回人間学塾を安曇川公民館で行いました。



今回は『孝経啓蒙』の「士の孝」。現代でいえば「公務員・会社員の孝」です。元々は身分社会において、上司に

忠孝を尽くすという内容です。しかし先生の解釈は深く、孝徳と忠孝は一本である。愛敬も一体のものである。この一本の孝徳は、天地、万物を生みだす大宇宙に他ならない。この愛敬の誠を尽くすとき、人は大宇宙に接する…。

フリートリーキングでは、藤樹先生の孝は現代社会にも十分通用する素晴らしい思想だ。先生が江戸時代初期に小川村におられたことの不思議。先生に啓発されて、桜美林大学を創設した清水安三など多くの人が社会に役立つ活動をしているのはこの地に特別な風土があるのではないかなど議論が盛り上がりました。

十一月五日（土）午後、第63回人間学塾を安曇川公民館で行いました。はじめにプロ野球日本シリーズで優勝した日本ハムの栗山監督が大谷

や中田、西川などの選手をいかに育てたのか、を孔子の最重要語「恕」（相手の身になって思い、語り、行動すること）と照らし合わせて考えました。

次に『孝経啓蒙』では、庶人の孝について学びました。…今まで学んできたことの大意は、天子から庶民に至るまで、孝の実践が完全ということは難しいけれども、自分にはとても戻込みせず、実行すべきである…。

フリートリーキングでは、相手の身になって考えるのは、商売と人間愛では違うのか、など議論が盛り上がりました。

十二月三日（土）午後、第64回人間学塾を安曇川公民館で行いました。最初にアドラーの教えⅡ『幸せになる勇氣』を紹介し、その中にある科学と哲学と宗教の違いについて考えました。

次に『孝経啓蒙』では、三才（天・地・人）の章について学びました。…それ孝は、天の経なり、地の義なり、民の行いなり。…この章の大意は、孝は天地の原理・原則、人間道徳の根源である。なればこそ人々は孝を手本とする。優れた聖王は、天の原理の明快さ、地の原則の有益さを政治哲学並びに政策として、世の人々を治めたのである。そのことによって…その行政は厳し

くなくとも整ったのである…。



フリートリーキングでは、現在は易经によれば乱世の真只中。だから世界で独裁的な指導者が現れて混乱している。乱世の時代にあつては、尚更、外部環境の変化をよく読み、よく考えて、自分を見失わないよう行動しなければならぬ、など議論が盛り上がりました。

塾の後は、場所を替えて懇親会を楽しみました。

本塾には、新しく参加される方が徐々に増えています。「学ぶは楽し」。皆さまのご参加をお待ちしています。

【藤樹人間学塾 今後の予定】

一月十四日（土）、二月四日（土）、

◎三月四日（土）、四月一日（土）、五月六日（土）、

◎六月三日（土）

●時間 十五時～十七時

●場所 安曇川公民館

◎印は塾終了後、別場所で開催あり